

(その三)

工場又は事業場の名称	アズマックス株式会社 千葉工場
------------	--------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
2 1	2 2	2 3	3 1						

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

[illegible]

(その四)

工場又は事業場の名称	アズマックス株式会社 千葉工場
------------	--------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

[illegible]

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	興亜硝子株式会社 市川工場
------------	------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

对策 1	对策 2	对策 3	对策 4	对策 5	对策 6	对策 7	对策 8	对策 9	对策 10
2 1	2 2	9 2	9 1	1 9	9 9				

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

[illegible]

b (その四)

工場又は事業場の名称	興亜硝子株式会社 市川工場
------------	------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成22年度以前	平成27年度	令和5年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

(1)計画年度(令和5年度)VOC排出量の削減

① 昨年度の塗料の使用量は、対基準年度(160t)に対して実績使用量は128 tでした。

令和5年度計画(200t)に対しては、計画達成となりました。

② VOC排出量につきましては、令和5年度計画(90t)に対して、実績(60t)で計画を達成することができました。

(2)原単位指標でのVOC削減管理：(VOC排出量/塗装通過本数)

令和5年度の前単位指標では、計画10%削減に対して、削減36%で達成することが出来ました。

水性塗料での塗装の増加により、有機塗料使用量を削減しています。

今後の方策として、新製品の水性塗料での開発の継続や生産効率の向上による塗料使用量の削減により、VOCの削減に努めます。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	桜宮化学株式会社 東京工場
------------	------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
5 3	9 1	2 1	3 2						

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

[illegible]

(その四)

工場又は事業場の名称	桜宮化学株式会社 東京工場
------------	------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

[illegible]

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	タカラスタンダード（株） 関東第一工場
------------	------------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせで実施した場合は、全ての対策について記載すること。

对策 1	对策 2	对策 3	对策 4	对策 5	对策 6	对策 7	对策 8	对策 9	对策 10
2 ↓ 1	2 ↓ 2	3 ↓ 4	5 ↓ 3	9 ↓ 1	↓	↓	↓	↓	↓

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

This image shows a blank sheet of white paper with ten horizontal dashed lines, typical of primary-ruled notebook paper. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

(その四)

工場又は事業場の名称	タカスタンダード（株） 関東第一工場
------------	-----------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

製品への異物混入による不良が多く、色替え時の洗浄や清掃の徹底を実施しているため、洗浄剤として使用している揮発性有機化合物の排出量が増えてしまった。
2024年度以降は一部無塗装化等の別の異物対策も実施していく計画であり、それに期待すると共に揮発性有機化合物の揮発対策に取り組む。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	タカラスタンダード（株） 関東第二工場
------------	------------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせで実施した場合は、全ての対策について記載すること。

对策 1	对策 2	对策 3	对策 4	对策 5	对策 6	对策 7	对策 8	对策 9	对策 10
2 ↓ 1	2 ↓ 2	3 ↓ 4	5 ↓ 3	9 ↓ 1	↓	↓	↓	↓	↓

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

This image shows a blank sheet of handwriting practice paper. It features ten sets of horizontal dashed lines, each set consisting of three parallel lines. These lines are designed to help children learn letter height and placement. The entire page is enclosed within a solid black rectangular border.

(その四)

工場又は事業場の名称	タカスタンダード（株） 関東第二工場
------------	-----------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

材料製造タンクの色替え時に揮発性有機化合物を使用して洗浄を行うが、配管内に揮発性有機化合物が残留するため、材料の使い初めに少量払い出し、産業廃棄物として廃棄していた。
今年度は配管構造を改善し、揮発性有機化合物が配管内に残留しにくくすることで廃棄量削減を図る。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

4 計画年度の排出等の量の実績値は、当該年度に工場又は事業場から排出及び飛散した揮発性有機化合物の量について有効数字2桁で記載すること（1キログラム未満の場合は、小数点以下第2位を四捨五入して得た数値を記載すること。）。

(その三)

工場又は事業場の名称	信和産業株式会社 本社工場
------------	---------------

(1)の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	5 6	9 1							

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is a solid vertical margin line on the left side, creating a narrow left margin. The top and bottom edges of the paper are slightly irregular, suggesting it might be a scan of a physical document. The overall appearance is that of a clean, unused piece of stationery or notebook paper.

(その四)

工場又は事業場の名称	信和産業株式会社 本社工場
------------	---------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成 2 1 年度以前	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

VOC処理装置の削減率良好。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	住友大阪セメント株式会社 新材料事業部 市川事業所
------------	------------------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせで実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
2	1	2	2	5	2				

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

・令和2年より、洗浄当たりの揮発性有機化合物の使用原単位削減および排出量削減を継続しております。
・洗浄処理後は速やかに揮発性有機化合物を密閉容器に戻し、不要に排出しないよう努めました。
・スクラバーを用い、揮発性有機化合物が外部へ排出しないようにしました。

(その四)

工場又は事業場の名称	住友大阪セメント株式会社 新材料事業部 市川事業所
------------	------------------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

計画年度の目標を確実に達成するためには、これまで行ってきた対策に加え
揮発性有機化合物を使用しない方法に変更する必要がある。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社日商グラビア
------------	------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1		対策 2		対策 3		対策 4		対策 5		対策 6		対策 7		対策 8		対策 9		対策 10	
1	2	2	1	3	1	5	4	5	5	9	1								

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

[illegible]

(その四)

工場又は事業場の名称	株式会社日商グラビア
------------	------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
○A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

[illegible]

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	日鉄鋼板株式会社 東日本製造所 市川地区
------------	-------------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

[illegible]

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

[illegible]

(その四)

工場又は事業場の名称	日鉄鋼板株式会社 東日本製造所 市川地区
------------	-------------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

ステンレス箔生産設備の一つである脱脂洗浄施設（脱脂クリーニングライン）において溶剤（ジクロロメタン）を使用している。
2017年6月溶剤回収装置の活性炭エレメントを劣化更新して以降、これまでのところ高い溶剤回収率を維持できておりVOC排出量目標を達成できているが、
2023年度は溶剤回収装置の活性炭エレメントが劣化し溶剤（ジクロロメタン）回収率が低下し始めていると推定しています。そこで活性炭エレメントの劣化更新について
2025年度もしくは2026年度での実施を計画中です。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社日立産機システム 習志野事業所
------------	------------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせで実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
1 1	1 2	2 2	2 9	9 4	9 9				

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

対策4について
塗料調合時のビニール袋保護による容器の洗浄回数低減化を行いました。
対策6について
ワニス・溶剤を多量に使用する製品の製造を終了しました。
塗装吊り具の鉤にフッ素コート保護を実施し洗浄シンナー削減を行いました。

(その四)

工場又は事業場の名称	株式会社日立産機システム 習志野事業所
------------	------------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
○A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社 パールイデア パールデポ関東流通センター
------------	------------------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせで実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
1 9	2 1	2 2	2 3	2 9	3 3	5 2	9 1	9 4	

その他(19、29、39、49、59、99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

・コロナも落ち着き塗装量も前年よりも多くなった。極力塗装を制限させ現状にて出荷することで塗料の使用量を抑えた。
・溶剤・塗料をエコのものを使用し有害物質の排出を抑制。 労働安全衛生法にも準拠する作業環境を整えてはいるが、VOCの排出量はなかなか削減することが困難。PRTR物質を中心に有害と考えられる物質については大幅に削減し効果を得ている。
・輸入生産品を製品化させることにより塗装を最小限に抑え、溶剤・塗料の使用量を削減。
・塗装するものの同系色を調達により、塗膜の薄化、溶剤・塗料の地容量を削減。
・返却時に養生をするようにし、現状出荷をすることで無塗装を多くした。

(その四)

工場又は事業場の名称	株式会社 パールイデア パールデポ関東流通センター
------------	------------------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計 画 年 度 の 属 す る 年 度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。○	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。○	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。○
C	目標年度の目標達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	京成自動車工業株式会社
------------	-------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせで実施した場合は、全ての対策について記載すること。

对策 1	对策 2	对策 3	对策 4	对策 5	对策 6	对策 7	对策 8	对策 9	对策 10
1 1	2 1	2 2	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

[illegible]

(その四)

工場又は事業場の名称	京成自動車工業株式会社
------------	-------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
Ⓐ	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
Ⓑ	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
Ⓒ	目標年度の目標達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がⒸの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	東邦シートフレーム株式会社 八千代工場
------------	------------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせで実施した場合は、全ての対策について記載すること。

对策 1	对策 2	对策 3	对策 4	对策 5	对策 6	对策 7	对策 8	对策 9	对策 10
2 : 1	2 : 2	3 : 3	5 : 4	5 : 6	9 : 1				

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

[illegible]

(その四)

工場又は事業場の名称

東邦シートフレーム株式会社
八千代工場

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	丸善株式会社 京葉油槽所
------------	-----------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

对策 1	对策 2	对策 3	对策 4	对策 5	对策 6	对策 7	对策 8	对策 9	对策 10
3 1									

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

[illegible]

(その四)

工場又は事業場の名称	丸善株式会社 京葉油槽所
------------	-----------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成22年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

[illegible]

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

工場又は事業場の名称	株式会社 竹中製作所 本社工場
------------	--------------------

(1)の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせで実施した場合は、全ての対策について記載すること。

对策 1	对策 2	对策 3	对策 4	对策 5	对策 6	对策 7	对策 8	对策 9	对策 10
2 1	2 2								

[illegible]

(その四)

工場又は事業場の名称	株式会社 竹中製作所 本社工場
------------	--------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	アズマプレコート株式会社 市川工場
------------	----------------------

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
2 2	2 3	9 1	9 2						

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

[illegible]

(その四)

工場又は事業場の名称

アズマプレコート株式会社
市川工場

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
○ C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

大型物件の塗装依頼があり生産量が増加したため、使用量とVOC排出量が増加しております。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	神東塗料株式会社 千葉事業所
------------	-------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1 1	1 2	1 3	2 1	2 3	9 1				

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

This image shows a single sheet of white paper designed for handwriting practice. It features ten horizontal rows. Each row is defined by three lines: a solid black line at the top, a dashed black line in the middle, and another solid black line at the bottom. The rows are evenly spaced and cover most of the page area. There is no text or other markings on the paper.

(その四)

工場又は事業場の名称	神東塗料株式会社 千葉事業所
------------	-------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成22年度以前	平成23年度	平成24年度以降
○A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

VOC使用量に対する排出量の割合は変わっていないので、溶剤系塗料の生産量の増減によって、VOC排出量変動する。
VOCを使用しない粉体塗料や水系塗料の生産比率を高めることが、VOCの使用量削減につながるため、会社として今後さらにVOCフリーの塗料の生産比率を高めるよう努力する。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	東洋合成工業株式会社 高浜油槽所
------------	---------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
3 1	4 9								

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策2：屋外タンク貯蔵所の塗装色をシルバー色から白色に変更し呼吸量を削減させる。

(その四)

工場又は事業場の名称	東洋合成工業株式会社 高浜油槽所
------------	---------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	2009(平成21)年度以前	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

[illegible]

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称

東洋合成工業株式会社
市川工場

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせで実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 9	3 2	4 9	5 1	5 2	4 9	3 1	5 2	3 9	

その他(1 9, 2 9, 3 9, 4 9, 5 9, 9 9)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策 1 : *ベンゼンの使用を廃止した。

対策 2 : * 蒸留装置のアフターコンデンサーにコールドトラップを2基増設しVOCを効率よく補足できるようにした
蒸留装置#2300のコールドトラップの位置を変更した。蒸留装置#3400のアフターコンデンサーを新設した
3系装置全体の負荷の見直し、負荷の分散を行った。

対策 3 : 屋外タンクにベーパーリターン配管を設置した。TK-622、TK-623タンクの遮温塗装を行った。

対策 4 : 屋外タンクのブリーザーバルブ及びエステル中和釜のベントから排出されるVOCを吸着除去するため、
遊休品のPSAを再稼働した。

対策 5 : アルデヒド製造時のオフガス対策としてディップ式吸収塔を設置した。

対策 6 : 屋外タンクにベーパーリターン配管を設置した。

対策 7 : H25年度、廃液ドラムに局所排気ダクトを設置した。

対策 8 : H25年度、各種スクラバー内の封水pHを11以上に管理した。

対策 9 : H26年度、PSA稼働テスト実施(継続)、キパーブリーザーを一部設置した。

H27年度、PSA洗浄テスト実施した。

H28年度、キパーブリーザー3基設置(TK-15・604・611)

対策 2 : H27年度、夏場のタンク散水を実施している。

対策 9 : PSAの真空ポンプの更新、シリカゲル、活性炭の更新をした。

対策 1 : H29年度、トルエンの販売を中止した。

対策 1 : 酢酸-n-ヘキシルの生産を中止した。

(その四)

工場又は事業場の名称	東洋合成工業株式会社 市川工場
------------	--------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

*基準年度に対して30%削減するという目標については、余裕をもって達成することができた。
22年度は生産量が増えた為、排出等の量が19,000kgと計画値を達成することが出来なかった。
しかし、23年度は22年度と生産量はほぼ同じだったが、ベーパーリターン配管付屋外タンクの使用頻度が増えた為、排出量を抑制することができた。
*ベーパーリターン配管付屋外タンクの使用率 25年度：71% 26年度：88% 27年度：78%
*使用量は計画年度とほぼ同等の量を取り扱ったが、取り扱い品目数で1.1倍、さらに揮発性の高いメタノール、アセトンに関しては1.5倍近く増えているので充填作業の増加及び排出量の増加が考えられる。
*対策：①屋外ドラム充填施設に局所排気装置の設置②PSA装置の脱臭液の変更を計画している。
*H26年度、引き続きPSA装置の脱臭液変更を計画、その他一部の屋外タンクにキパーブリーザーを設置予定。
*H26年度PSA装置テスト実施、今季継続テスト中。キパーブリーザー設置中（約半数）。またH26年度は計画値の18,000kgを達成することができなかったのは、生産量が増加したためである。
*H27年度、PSA洗浄テスト実施し、効果を確認した。前年報告した計画値の算出に不備があり、修正。
*H28年度、夏場のタンク散水を実施しております。キパーブリーザーを3基設置した。
*H29年度、PSAの真空ポンプの更新、シリカゲル、活性炭の更新をした。
*H30年度、トルエンの販売を中止した。
H30年度、排出等の量が15,000kgに低減している理由は、MEK関連の生産量が24%減少した為である。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社淀川製鋼所 市川工場
------------	-------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	2 2	5 6							

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策 1
塗料、シンナーのフタ閉め、漏れ防止による溶剤管理の徹底
対策 2
製品品質安定化による塗料使用量の低減実施
対策 3
蓄熱式除去装置の安定運用

(その四)

工場又は事業場の名称	株式会社淀川製鋼所 市川工場
------------	-------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成24年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

揮発性有機化合物の排出量が増加した原因は、原材料などの高騰による製品価格改訂のため受注量や製品種類の変化により、塗装鋼板の生産構成が変わったことによる塗料の焼付時に発生する溶剂量の変化により、揮発性有機化合物を除去する蓄熱式除去装置の能力が一時的に低下したためと考えております。
蓄熱式除去装置は、塗装鋼板の塗料を焼付ける際に発生する揮発性有機化合物を含む溶剤ガスを高温の蓄熱体に接触させ、蓄熱体を燃やすのと合わせ溶剤ガスを焼失させますが、塗料の付着量が少ない塗装鋼板は発生する溶剤ガス量が少なく、蓄熱体が燃え難くなり、揮発性有機化合物が残存した可能性があり、塗料の付着量の少ない鋼板製品の増加の影響と考えております。
現在、生産構成の影響を確認しております。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。